

平成 30 年度岡山市市民協働推進モデル事業

中間評価表

実施団体	くらしのたね	操車場跡地にできる新公園を活用する市民の会	
協働部署	庭園都市推進課		
記入日	平成 30 年 10 月 31 日		

1. 事業の目標と達成状況

目標	目標に対する現在の状況	今後の対応
パークマネジメントの理解が進み、パークマネジメント準備会ができています	<ul style="list-style-type: none"> 一般市民及び関係者のパークマネジメントの理解について →主体的な関係者には会議のたびに理念を共有している。 市民の会の認知は進んできている印象がある。 パークマネジメント準備会のメンバー →学識経験者や地元関係者、近隣の中学校などに声掛け 	<ul style="list-style-type: none"> 一般市民向けの報告会兼シンポジウムを企画中。 きたながせスープ(11/23)において、市民の会への参加の呼びかけ、チラシ配布をする。 今年度中にパークマネジメント準備会を結成したい。
市民の会の活動が認知され、市民から自主的な活動とそれが発信されている	<ul style="list-style-type: none"> イベント（きたながせスープ）を開催することができた。（5月27日に） 中学生や社会人など、参加者に多様性が生まれつつある。 参加者の満足度の変化 →継続して参加する学生がいる。 →役割を進んで引き受ける参加者もいた。受付や準備や片付けなど。 継続的な参加者はイベントの流れを把握して自主的に活動できてきている。 発起人たち以外の市民の会のメンバーも積極的になってきている。（来年度の活動継続を希望していることや、自主的なイベントや企画の提案をすること）。 	<ul style="list-style-type: none"> 「新公園を活用する市民の会」のHPでの広報を考える https://www.kitanagase-park.com/ 市民の会への参加を促進し、参加者の主体的な活動とその発信を経て、さらなる認知に進む好循環を目指している。
モデルプロジェクトを通して新公園活用への課題や活用の際に必要なデータを収集している	<ul style="list-style-type: none"> モデル事業で得られたデータは、御南中学校の参加者のアンケート結果がある。 モデル事業を通しての課題 →健康：参加者が少ない。広報に力をいれたい。 →農園：作物を育てるのが大変。「失敗してもいいからやろう」というコンセンサスのもと取り組んだ。近隣の農家の力を借りて、徐々に農園らしくなってきた。 →子ども：常設の遊び場づくりを検討中 →全体：いかに全体を把握するかが難しい。どのように仕組み化すれば参加者の主体性を損なわず、全体をマネジメントできるか、模索中。 	<ul style="list-style-type: none"> さらなる参加を促すため、それぞれの活動の対象者の目にとまりやすい方法を考えて、アプローチに力を入れる。 道具の保管に関しては、リストを作成し、保管場所や貸出し記録などをつけておく。 協働の難しさについて →新しい取り組みだから、課題に直面し、経験の蓄積をしていることが十分有意義だ。

	→所感：庭園都市推進課との協議協働がスムーズで建設的なので、新たな取組みに進みやすく、経験を得やすい環境だ。	
その他	・公園という場に、まさしく協働が生まれている。参加者が参加者を呼ぶいい流れができています。	

2. 協働の基本原則に基づくチェックリスト

協働の原則	チェック (できたものに☑)	指標 (※指標の番号が大きくなるほど協働が進んでいる状態を表します。)
相互理解の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署がそれぞれの役割を明文化している
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 実施団体と協働部署がそれぞれの役割を果たしている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 実施団体のミッションを理解している (協働部署が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 岡山市 (協働部署) の方針や計画を理解している (実施団体が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 実施団体と協働部署のそれぞれの強みが発揮され、弱みが補われている。
目的共有の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署が事業のスケジュールを把握している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 実施団体と協働部署の双方の合意によって事業目標が決定されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 実施団体と協働部署が事業の成果・課題を定期的に共有している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 実施団体と協働部署が理想とする社会状況を共有している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 実施団体と協働部署が理想とする社会状況と現状とのギャップを共有している。
対等の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 双方の合意によって役割分担が図られている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 実施団体の意思・意見が尊重されている (実施団体が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 協働部署の意思・意見が尊重されている (協働部署が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 実施団体のみに役割や責任が集中していない (実施団体が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 協働部署のみに役割や責任が集中していない (協働部署が回答)。
自主性及び自立性尊重の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署が積極的に意思表示をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業またはその他の意思決定において実施団体に不当に干渉されていない (協働部署が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 事業またはその他の意思決定において協働部署に不当に干渉されていない (実施団体が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 事業またはその他の意思決定において実施団体に依存されていない (協働部署が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 事業またはその他の意思決定において協働部署に依存されていない (実施団体が回答)。

公開の原則	<input checked="" type="checkbox"/> (予算はまだ)	① 実施団体と協働部署間で事業の進捗状況や予算の執行状況が随時共有されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 議事録やイベントごとの報告書が作成され、実施団体と協働部署で共有されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 必要に応じて実施団体と協働部署以外の第三者の助言を仰いでいる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 事業の案内が実施団体のウェブサイト等で随時発信されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 事業の結果が実施団体のウェブサイト等で随時発信されている。